

白井有終2冠

個人総合と団体

体操・全日本学生選手権
第1日(11日・兵庫・イコ
ム総合体育館)――1部校
の個人総合と種目別予選を
兼ねて団体総合が行われ、
男子は世界選手権(10月開
幕、ドーハ)代表の白井健
三(日体大)が個人総合で
計85・600点をマーク
し、2年連続2度目の優勝
を果たした。白井は団体で
も日体大の4年ぶりの優勝



団体総合、個人総合の
2冠を果たした白井

に貢献した。女子は、個人
総合で平岩優奈(武庫川女
子大)が計53・400点で
初優勝し、団体総合は日体
大が5連覇を果たした。同
代表の村上茉愛(日体大)
は、足首の故障で欠場した。

■涙「後輩に感謝」 日

体大主将で4年の白井が、
個人、団体で2冠を果たし、
「最後のインカレ」で有終
の美を飾った。特に喜びが
大きかったのは、下級生を
引っ張って戦った団体戦。
チームの最終演技者となっ
た跳馬の演技後には、やり
きった達成感から「体操人
生で初めて」という涙を流
し、優勝決定の瞬間は何度
も跳びはねて喜びを爆発さ
せた。これまでは実力者ぞ
ろいの順大に敗れてきただ
けに、「練習が実を結んだ
結果。付いてきてくれた後
輩たちに感謝したい」と、
喜びもひとしおだった。